

信州大学医学部附属病院 呼吸器外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2021 年 1 月 30 日

**「術後 CT を用いた右上葉切除後の中葉反時計回転の検討」に関する臨床研究を実施
しています。**

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の
情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5003
研究課題名	術後 CT を用いた右上葉切除後の中葉反時計回転の検討
所属(診療科等)	呼吸器外科
研究責任者(職名)	小池 幸恵(医員)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2025 年 3 月 31 日
研究の意義、目的	原発性肺癌の現在の標準術式は肺葉切除術となっており、肺癌外科切除例の原発部位では右上葉発生が最も多いことから右上葉切除術が肺癌の手術で最も多い術式となっています。右上葉切除後の残存中葉は、大きく肺尖方向に移動し(120° 反時計回転し)、中葉気管支の頭側への牽引による屈曲、狭窄から時に含気不良を呈することがあります。そのことにより咳や呼吸困難、呼吸機能の低下をきたす可能性があるといった報告がなされています。過去の文献では右上葉切除後の残存中葉が 120° 反時計回転している場合、術後の CT 画像で自動縫合器の切離線を確認することで診断することができると報告されています。この研究では術後の CT 画像所見から右上葉切除後に中葉の 120° 反時計回転を起こしている症例を探し、中葉の 120° 反時計回転の及ぼす影響について検証しています。
対象となる患者さん	2014 年 1 月 1 日から 2018 年 11 月 31 日の期間に当院で肺癌(小細胞肺癌の方を除く)の手術を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、術前 CT など／なし
研究方法	上記期間中に、信州大学医学部附属病院呼吸器外科で、肺癌(小細胞肺癌の方を除く)の手術を受けられた方の術後 CT 画像を使用します。術後の CT 画像で自動縫合器の切離線を確認することで右上葉切除後の残存中葉が 120° 反時計回転している症例を診断し、それらの症例につき術後の自覚症状、血液検査所見、画像所見について検討し、中葉の 120° 反時計回転の及ぼす影響について検証します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。

問い合わせ先	氏名(所属・職名): 小池 幸恵(信州大学呼吸器外科 医員) 電話:0263-37-2657
--------	---

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。